



## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月8日  
東

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所  
 コード番号 6662 URL <https://www.ubiteq.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 学  
 問合せ先責任者(役職名) 管理部門管掌執行役員 (氏名) 江面 祥行 (TEL) 03(5447)6731  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	924	0.1	9	—	11	—	10	—
2025年6月期第3四半期	923	50.9	△139	—	△138	—	△140	—

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 9百万円( —%) 2025年6月期第3四半期 △141百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年6月期第3四半期	円 銭 0.68	円 銭 —
2025年6月期第3四半期	△9.52	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	1,710	1,524	87.2
2025年6月期	1,701	1,515	87.1

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 1,492百万円 2025年6月期 1,482百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)					

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2026年6月期の期末配当予想については、現時点では未定であります。

## 3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

2026年6月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的に算出することが困難であることから、未定といたします。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

※詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期3Q	14,791,600株	2025年6月期	14,791,600株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	—株	2025年6月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期3Q	14,791,600株	2025年6月期3Q	14,791,600株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の底堅さや雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。株式市場においては、引き続きAI関連や半導体銘柄を中心に相場をけん引し、日経平均株価が過去最高水準を更新する局面も見られました。また、物価や所得の上昇を背景に、日銀による政策金利の段階的な引き上げなど、金融政策の正常化に向けた動きが継続しました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東地域における紛争の激化による地政学リスクは依然として高い水準にあり、国際的な資源価格や金融市場への影響が懸念される状況が続いています。さらに、米国の関税政策を含む経済政策の動向や中国経済の減速懸念などの不確実性も依然として大きく、景気の先行きについては引き続き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社及び連結子会社は、2026年6月期から2028年6月期までの「ユビテック新3か年計画」を策定し、この3か年を自社SaaSサービスの成長期と位置づけ、新たな基本方針を「インターロックシステムの早期拡販による、D-Driveの基幹事業への成長」、「社会ニーズに即した、Work Mateの安定成長」、「自社サービス蓄積データの活用による、第3軸の創出」等と定め、営業利益黒字化と営業キャッシュフロー改善を目指して各種取り組みを行っています。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は924百万円（前年同四半期比0.1%増加）、営業利益は9百万円（前年同四半期は営業損失139百万円）、経常利益は11百万円（前年同四半期は経常損失138百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失140百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### IoT事業

IoT事業は、「D-Drive」及び「Work Mate」の販売が順調に推移したことで前年同四半期比で増収増益となり、当第3四半期連結累計期間においては、売上高738百万円（前年同四半期比24.7%増加）、セグメント利益188百万円（前年同四半期はセグメント利益7百万円）となりました。

#### 製造受託事業

製造受託事業は、歯科診療向け咬合力計測機器用回路基板が前年同四半期に比べ需要が減少したことで減収減益となり、当第3四半期連結累計期間においては、売上高62百万円（前年同四半期比67.5%減少）、セグメント利益15百万円（前年同四半期はセグメント利益52百万円）となりました。

#### 開発受託事業

開発受託事業は、子会社の㈱ユビテックソリューションズにおける受託開発案件が減少したことで前年同四半期比で減収減益となり、当第3四半期連結累計期間においては、売上高123百万円（前年同四半期比11.2%減少）、セグメント損失9百万円（前年同四半期はセグメント損失1百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1,710百万円となり、前連結会計年度末から9百万円増加しております。主な内容としましては、現金及び預金が39百万円、原材料及び貯蔵品が13百万円、無形固定資産が43百万円増加しておりますが、受取手形、売掛金及び契約資産が63百万円、製品が17百万円減少しております。

### (負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は185百万円となり、前連結会計年度末から0百万円減少しております。主な内容としましては、支払手形及び買掛金が44百万円増加しておりますが、電子記録債務が28百万円、未払金が7百万円、流動負債のその他が8百万円減少しております。

### (純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は1,524百万円となり、前連結会計年度末から9百万円増加しております。主な内容としましては、四半期純利益9百万円の計上によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社及び連結子会社は3か年計画として、2028年6月期に連結売上高1,657百万円、連結営業利益220百万円の達成を目標に掲げており、これを実現するためにオリックスグループとの連携を進め、「D-Drive」及び「Work Mate」のさらなる拡販に注力しているものの、2026年6月期の連結業績予想につきましては、現時点において合理的に算出することが困難な状況であることから未定とし記載しておりません。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

## (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社及び連結子会社は、前連結会計年度まで5期連続して営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

このような中、当社及び連結子会社は、2026年6月期から2028年6月期までの「ユビテック新3か年計画」を策定し、この3か年を自社SaaSサービスの成長期と位置づけ、オリックス自動車株式会社や各システム会社などのパートナー企業との連携強化によって拡販体制を強固にし、導入企業数の一層の拡大に努め、営業利益黒字化と営業キャッシュフロー改善を実現し、当該重要事象の早期解消を目指しております。

なお、当社及び連結子会社は当第3四半期連結会計期間末において、現金及び預金1,283百万円を保有しており、財務面における安定性については十分に確保されていると考えていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,244,725	1,283,962
受取手形、売掛金及び契約資産	196,610	133,231
電子記録債権	536	422
商品	9,707	2,994
製品	79,174	61,928
仕掛品	429	144
原材料及び貯蔵品	78,256	91,319
その他	58,912	42,325
流動資産合計	1,668,352	1,616,328
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	6,355	8,076
減価償却累計額	△5,782	△5,904
工具、器具及び備品(純額)	572	2,171
有形固定資産合計	572	2,171
無形固定資産		
その他	—	43,847
無形固定資産合計	—	43,847
投資その他の資産		
その他	32,336	48,323
投資その他の資産合計	32,336	48,323
固定資産合計	32,909	94,342
資産合計	1,701,261	1,710,671

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,120	54,269
電子記録債務	31,018	2,180
未払金	52,384	45,232
未払法人税等	8,018	6,461
賞与引当金	886	2,965
その他	78,743	69,757
流動負債合計	181,170	180,866
固定負債		
退職給付に係る負債	5,082	5,082
固定負債合計	5,082	5,082
負債合計	186,253	185,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,473	941,473
資本剰余金	655,375	655,375
利益剰余金	△114,709	△104,638
株主資本合計	1,482,139	1,492,211
非支配株主持分	32,869	32,511
純資産合計	1,515,008	1,524,722
負債純資産合計	1,701,261	1,710,671

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
売上高	923,630	924,209
売上原価	681,120	564,040
売上総利益	242,510	360,168
販売費及び一般管理費	382,257	350,403
営業利益又は営業損失(△)	△139,746	9,764
営業外収益		
受取利息	311	747
為替差益	—	11
固定資産売却益	—	50
生命保険配当金	309	344
雑収入	147	1,037
その他	147	196
営業外収益合計	916	2,386
営業外費用		
為替差損	57	498
固定資産除却損	16	—
その他	57	—
営業外費用合計	132	498
経常利益又は経常損失(△)	△138,963	11,653
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△138,963	11,653
法人税、住民税及び事業税	2,057	1,939
法人税等合計	2,057	1,939
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△141,020	9,713
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△76	△358
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△140,944	10,071

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△141,020	9,713
四半期包括利益	△141,020	9,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△140,944	10,071
非支配株主に係る四半期包括利益	△76	△358

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	IoT事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	592,053	192,596	138,980	923,630	—	923,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	592,053	192,596	138,980	923,630	—	923,630
セグメント利益又は 損失(△)	7,954	52,362	△1,785	58,532	△198,278	△139,746

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△198,278千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	IoT事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	738,218	62,516	123,474	924,209	—	924,209
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	738,218	62,516	123,474	924,209	—	924,209
セグメント利益又は 損失(△)	188,080	15,440	△9,419	194,102	△184,337	9,764

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△184,337千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	55,642千円	3,045千円